



平成 22 年 2 月 12 日

各 位

会社名 楽天株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長  
三木谷 浩史  
(JASDAQ:証券コード 4755)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
高 山 健  
電話 03-6387-0555

### 平成21年12月期当社業績の前期との差異に関するお知らせ

本日、当社グループは平成 21 年 12 月期業績について「平成 21 年 12 月期 決算短信」を公表しましたが、前年同期業績との差異が大きいため、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

当社グループは業績予想を開示しておりませんので、ジャスダック証券取引所の規則に従い前年同期との比較を行っております。

#### 記

1. 平成 21 年 12 月期の業績（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日、△はマイナス）

(1) 連結業績 (単位：百万円)

|                    | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益   |
|--------------------|---------|--------|--------|---------|
| 平成 20 年 12 月期実績(A) | 249,883 | 47,151 | 44,531 | △54,977 |
| 平成 21 年 12 月期実績(B) | 298,252 | 56,649 | 54,890 | 53,564  |
| 対前期増減額 (B-A)       | 48,368  | 9,497  | 10,358 | —       |
| 対前期増減率             | 19.4%   | 20.1%  | 23.3%  | —       |

(2) 個別業績 (単位：百万円)

|                    | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益   |
|--------------------|---------|--------|--------|---------|
| 平成 20 年 12 月期実績(A) | 89,663  | 27,743 | 26,767 | △38,243 |
| 平成 21 年 12 月期実績(B) | 113,555 | 37,805 | 37,154 | 41,765  |
| 対前期増減額 (B-A)       | 23,891  | 10,061 | 10,387 | —       |
| 対前期増減率             | 26.6%   | 36.3%  | 38.8%  | —       |

## 2. 業績の概要

(連結) 当連結会計年度(平成21年12月期)においては、『楽天市場』の流通総額や『楽天トラベル』の予約流通総額(取扱高)の伸びが高い水準を維持するなど既存事業が好調に推移したことや、第1四半期よりイーバンク銀行株式会社の連結を開始したことなどから、売上高は298,252百万円(前期比19.4%増)となりました。

また、利益面では、前連結会計年度からの費用構造見直しの効果が継続したことなどから、営業利益は56,649百万円(前期比20.1%増)、経常利益は54,890百万円(前期比23.3%増)と大きく改善し、いずれも過去最高を更新しました。また、平成21年3月31日に株式会社東京放送(現株式会社東京放送ホールディングス)株式に関する買取請求権を行使したことにより前期に発生した同株式に関する投資有価証券評価損について繰延税金資産を計上したこと等から、法人税等調整額18,058百万円が発生しました。これらを受け、当期純利益は53,564百万円(前期は54,977百万円の損失)となり、過去最高となりました。

(個別) 当会計年度(平成21年12月期)においては、パッケージメディアなど商品販売高が大きく伸びたほか、『楽天市場』の好調を反映して広告売上や出店料収入なども増加したことから、売上高は113,555百万円(前期比26.6%増)となりました。

また、利益面では、前連結会計年度からの費用構造見直しの効果が継続し、営業利益は37,805百万円(前期比36.3%増)、経常利益は37,154百万円(前期比38.8%増)となりました。さらに、連結の項でも記載のとおり、前期に発生した投資有価証券評価損に関する繰延税金資産の計上等に伴う法人税等調整額18,878百万円の発生により、当期純利益は41,765百万円(前期は38,243百万円の損失)となり、過去最高となりました。

以 上